

2009年09月17日 / 日経産業新聞掲載記事

ICタグ製造のKRDコーポレーション（神奈川県大和市、小松弘英社長）は、同社が開発したセラミックス製の高耐久性ICタグが全国約2万3000カ所の測量用基準点に採用されたことを明らかにした。ICタグには緯度や経度などの位置情報のデータが記録され、道路などの管理に活用される。

国土地理院が進めている「インテリジェント基準点」と呼ぶプロジェクトの一環。基準点にICタグを埋め込むことで、位置情報などを携帯端末を活用して簡単に読み出せるようになる。